

水ときらめき紀の川館に 団体の来館者がありました

流水調整課 R1.11.15

🍎 団体見学概要 🍎

日 時：令和 1 年 11 月 15 日（金）10:00～11:30

会 場：水ときらめき紀の川館

参加人数：11 名

団 体 名：中辺路地区ボランティア連絡協議会

紀の川大堰の水ときらめき紀の川館に、中辺路地区ボランティア連絡協議会の皆さんが見学に来られ、当事務所の流水調整課 2 名が、見学のご案内をいたしました。10 月までの台風続きの天候から一転して、11 月中旬のこの日は、青空の一日でしたが、秋を飛び越えて冬に突入したかのような少し肌寒い風が吹いていました。紀の川大堰の概要説明から始まり、館内や展望デッキ、魚道観察室をご案内しました。

紀の川大堰概要説明



まず最初に流水調整課の専門員が、スライドを用いて、紀の川の概要や紀の川大堰の仕組み・役割などを説明しました。

皆さん、スライドと配布した紀の川大堰の資料を見ながら紀の川の歴史や利水、治水、環境などについてお勉強されていました。

魚道の見学



きらめき館から魚道へと続く道。大堰周辺の芝生の色は、もうすっかり秋から冬の装いに変わりつつありました。



魚道では、大きな魚たちが、今日も群れをなして元気に泳いでいました。その他にも 1 匹のエイが上流から海の方へと泳いでいく姿を見ることができました。



主ゲート周辺では、カルガモさん達がプカプカと気持ちよさそうに浮かんでいました。「大堰は近くでみたら大きいな～」と皆さんおどろかれています。



魚道観察室の見学



職員へ質問中の皆さん



魚道観察室では、階段式魚道を遡上する魚の姿を横から見るができます。「魚の力ってすごいなあ。あんな苦労しながらよくこんな急なところを上っていくよなあ」と魚の生命力に関心されていました。



館内の見学・展望デッキ



窓越しからの操作室



職員も一緒に記念撮影



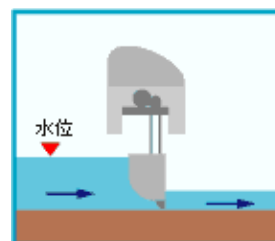
本日の展望デッキからは、真っ青に澄み渡る空に浮かぶ秋の雲が見られました。皆さん、「ここで弁当食べたいなあ～」と紀の川館の展望デッキを気に入ってくださったようでした。展望デッキでは、職員も一緒に記念撮影を行いました。



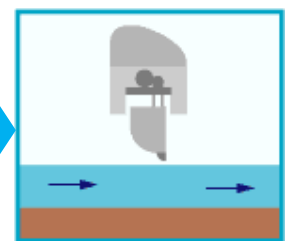
質問

Q. 紀の川が洪水になると、紀の川大堰から川の水があふれないのですか？

A. 紀の川大堰のゲートは、ふだん水をせき止めていますが、ゲートが動くようになっています。洪水のときはゲートを上げ、安全に水を流しますので、固定堰よりも水位変動が少ない仕組みになっています。



ふだんの時
水をせき止めています



洪水の時
ゲートを上げ水を流します